

アジア最大の科学・分析関連展示会の新名称を公募

—分析展 2011／科学機器展 2011—

社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-10-1 電話03-3292-0642、会長 堀場 厚=(株)堀場製作所 代表取締役会長兼社長)は、日本科学機器団体連合会(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-5 電話 03-3661-5131 会長 矢澤英人=(株)ダルトン 代表取締役社長)との共催にて2010年より開催している分析展／科学機器展を、アジア最大のハブ展としてさらに成長させるべく、分析展の50回目、科学機器展 in 東京の35回目の節目にあたる2012年9月の展示会よりその名称を統一し、新名称で開催することで合意しました。これに先立ち、合同展示会の新名称を、以下の要領にて国内外に一般公募いたします。

- ・ 募集期間は、2011年1月20日(木)15時から1月31日(月)17時(日本時間)
- ・ 応募名称は、アルファベット表記として合同展の特長やイメージを的確に捉えていること、発音しやすく読みやすいこと、他の展示会与混同しないこと、および国内外においてネガティブなイメージを想起させないもの、とします。
- ・ 応募は、合同展ホームページ(<http://www.jaimasis.jp>)上より応募いただくか、官製ハガキに必要事項をご記入の上、下記宛先にお送りいただくようお願いいたします。
- ・ 選考は、両団体より選出された選考委員が審査し、最優秀作品を決定します。
なお、選考名称には、合同展主催者による修正が加わる場合もあり得ること、及び決定名称の商標は、合同展主催者に帰属することをご了承いただきます。
- ・ 選考結果は、2012年3月末に受賞者にご通知すると同時に合同展ホームページ上でも発表いたします。
- ・ 賞品として、新統一名称の入った記念品および、10万円相当の副賞を贈呈します。

応募要項詳細は下記事務局にお問い合わせいただくか、合同展ホームページ(12月18日公開)上でご確認下さい。

合同展は、両団体の密接な協力関係のもと、2010年度にその第1回が幕張メッセの5つのホールを使用して盛大に開催され、登録来場者24549人を数え、この分野では文字通りのアジア最大の展示会となりました。主催者といたしましては本統一展が全ての産業のマザーツールとなる科学／分析機器・技術の入り口から出口までの最先端情報が一堂に会する展示会として、ドイツ・アナリティカ展、米国・ピッツコン展と並ぶ世界三大展示会となり、さらに国際化し、発展する事を目標に鋭意努力してまいる所存です。

【お問い合わせ先】

- (社)日本分析機器工業会
合同展事務局 林(はやし)/小川(おがわ)
電話(03)3292-0642 までお問い合わせ下さい。

